No.64

Newsletter

The Friendship Force of Aichi

発行 2005 年 6 月

FFIからの連絡により 2006 年度の交換はオーストラリア・ノースモートンクラブ、コスタリカ・ヘレディアクラブの受入れ、そしてベルギー・ベルジアンコーストおよびドイツ・ハノーバークラブへの訪問と決定した。特にノースモートン、ハノーバー両クラブは昨年から今年度にかけての交換相手であり、その時の友情が今回の決定に結びついた。

≪ハノーバー・ノーデルシュテット交換を振り返って≫

ED　冨岡　達也

今回の交換では 30 名という大勢のｱﾝﾊﾞｻﾀﾞｰを迎え、一時は FF 愛知の許容力を超える受入れかと心配された。しかし、FF 愛知ｸﾗﾌﾞ会員各位の協力により交換を成功裏に終えることができました。

当初は、ﾊﾉｰﾊﾞｰと愛知・広島ｸﾗﾌﾞ間の交換計画でしたが、広島ｸﾗﾌﾞの都合で一時暗礁に乗りあげかけました。一方同時期に愛媛ｸﾗﾌﾞとﾉｰﾃﾞﾙｼｭﾃｯﾄｸﾗﾌﾞ間の交換計画があり、こちらは都合のつくｾｶﾝﾄﾞｸﾗﾌﾞがないという状況にあった。この為、FFI からﾄﾞｲﾂ側ﾊﾉｰﾊﾞｰ・ﾉｰﾃﾞﾙｼｭﾃｯﾄ両ｸﾗﾌﾞの合同訪問、日本側愛知・愛媛ｸﾗﾌﾞによる受入れで交換推進ができないかとの提案があり、今回の大訪問団受入れとなった。

私が初めての ED 経験である上、一番大切なﾎｽﾄのﾘｸﾙｰﾄ面で全く無力であったにも拘わらず、今回の交流を無事推進ができたのは、鷹野会長をはじめとする会員間の横のつながりの強さであった。
先輩諸氏が培われた基盤の重みを感じました。

交換時期は、先方の ED である Mr.Hase 氏の希望が EXPO と桜を是非見たいと言う事であった為、当初予定の 4 月中旬訪問をわざわざ 3 月末訪問へと変更しました。あにはからんや今年の天候不順で名古屋における花見は叶わなかったが、松山では十分堪能できたとのことであり、また EXPO も楽しんでもらえたので取敢えずホッとしました。

彼らが中部新空港に降立った日は、あいにく土砂降りの日でした。出迎えのため到着ﾛﾋﾞｰに集まったﾎｽﾄの面々には彼らが元気な顔を見せてくれるだろうか、心なしか心配そうな表情が感じられました。

しかし彼らが FF 愛知の旗を出口に見つけ嬉しそうな顔をしたのを見るや、一斉にその表情が緩むのが見えました。そして受入れ完了後は互いに楽しそうに語らいながら解散して行きました。この姿を見ながら、私には今回の交流がきっと素晴らしいものになるだろうとの期待を抱くことができました。
ｲﾍﾞﾝﾄとして計画した EXPO では白木ﾘｰﾀﾞｰを軸に各ｸﾞﾙｰﾌﾟﾘｰﾀﾞｰが的確にﾘｰﾄﾞしてくれました。この日はあいにく寒い日でしたが彼らにとっては何でもなかったようで、前 EXPO 開催地からの客人達でもあり、ﾃﾚﾋﾞのｲﾝﾀﾋﾞｭｰをご機嫌で受けていました。

奈良ﾃﾞｲﾄﾘｯﾌﾟは好天と林ﾘｰﾀﾞｰの事前準備のお陰で東大寺―春日大社の散策と日本の歴史文化の香りを十分楽しんでもらいました。また、名古屋城公園のﾎﾟﾄﾗｯｸﾊﾟｰﾃｨと金鯱・名古屋城見学では、あまりの熱心な見学に迷子騒動のﾊﾌﾟﾆﾝｸﾞがありましたが、ﾒﾝﾊﾞｰの持寄った料理共々十分楽しんで貰えたようです。

今回の交換では、各ﾘｰﾀﾞｰの的確なﾘｰﾄﾞで全てがｽｹｼﾞｭｰﾙ通り行きました。一方、彼らには折角の日本をゆっくり楽しんで貰うべきだったかと思いつつも、短期間で多くを見て欲しい気持ちと、大混雑が予想される場合の大集団での行動に、どれだけの自由度を持たせられたかという気持ちもあり思いは些か複雑です。

ED　Mr.Hase 氏と（EXPO 会場にて）

最後に彼らを次の訪問地である愛媛ｸﾗﾌﾞへ向かう際、岡山まで同行しました。彼らは口々に愛知ｸﾗﾌﾞの面々への謝辞を述べ、来年の訪問先として是非ﾊﾉｰﾊﾞｰを計画してくれと、FFI には Mr.Hase からその旨を要請すると言い残し別れを告げてゆきました。

そしてその言葉通り、来年の訪問先はすでに決定していたﾍﾞﾙｷﾞｰに加えﾊﾉｰﾊﾞｰが追加決定されたことを報告しておきます。

リーダーシップとチームワークの良さ、それにインターネットの活用

鷹野晴子

今回のHanover, Norderstedt 交換はED富岡さんの見事なリーダーシップの下、素晴らしいチームワークで難しい課題もクリアし、交換プログラムの良い進め方を私たちに示されました。

最も懸念さていたエクスポ見学のために数週間前から下見に行った担当スタッフから次々に情報が寄せられました。30 名ものアンバサダーが効率良く安全にそして満足していただく見学にするために遠慮の無い活発な意見交換が行われました。

これらはすべてインターネット上でオープンにされていましたので順次状況が良く分かりました。

結果は当日まで状況に応じてフレキシブルに変更を重ねて無事終えることが出来ました。当日働いたスタッフは男性7人女性4人でした。

こうした時、いつも率先して働かれる会長経験者の方々の元気なご様子を拝見し心強く思いました。

奈良のバス旅行では「ぼくは背が高いので旗振りをします」と言われたとおり、一日中どこでも一生懸命FF愛知の旗を振りかざしていられた古い会員の方、本当に真面目なんだなーと感心しました。

名城公園でのピクニックパーティーでは6つも重い折りたたみテーブルをものともせず運び込んでくださった女性会員、そしていつものごとく早くから場所取りをしてくださった3人の女性、荷物の運搬には新しい男性会員が軽トラックを張りきって運転されました。いつもイベントが終わると自分の車のトランクに大きなゴミ袋を運んでくださる方は貴重な存在です。こういう方たち抜きで交換の成功は考えられません。

プログラムの中で双方の国の文化の違いを感じたのはエクスポで集団行動して同じものを見学するのには我慢ならないと意思表示されたこと、分かる気がします。名古屋城や博物館などで時間をかけじっくり鑑賞されること。

これは感心するとともに時間配分を考え直す必要を感じました。

今回は交換にいたる全ての流れがオープンにされ、毎回入念な資料を用意され、多くの方々が責任感を持って楽しく働いてくださるようにリーダーシップを発揮された富岡さんのやり方は今後の参考になりました。

新しい国際空港、セントレアに都合の悪いホストの代わりに来てくださった会員も含めて出迎えにホストが集結した大雨の日から始まったこの交換でボランティアとして働いてくださった方は30人以上、ホスト、デイホストを含めて実に80%以上の会員の方がこの交換を共有できたことは意義のあることだったと思います。

＊ FFIのホームページにはまだWFDの記事が掲載されています。この交換の写真をAichiclubのリンク先に送りましたので御覧ください。

Friendship Force International →WFD Celebration →All Participating Clubs→TFF of Aichi をクリック →下のほうへ移動してLink to Club Photosをクリックすると楽しい写真が出てきます。

ホストファミリーのためにドイツ料理を作っています。1時間で完成、楽しいディナーパーティーになりました。

F.F Hanover との Friendship について

白木 裕己

3月29日のEXPO 2005Aichi の観覧をするに当たり、事前の準備はことのほか大変だったと思います。

Ambassador の30名と7名のHostのかたがグループ分けによる一日の行動計画と各パビリオンを満足に見ることが可能かどうか，集合場所、時間、食事の問題点など開催が始まったばかりで未知のことばかり、E,D の富岡さんのご苦労はいかほどのこととおもいました。

また事前の下見も数回されたとか、色々な少ない情報のなかで一日のスケジュールが皆楽しく又興味のあるパビリオンを見学することが出来るとか、少しでも愛、地球博の意義を感じ取ってもらうことが出来たのか不安だったと思います。

グローバルハウスでのマンモスと愛知県長久手館の見学も出来満足の出来るイベントであったと思います。

グローバルループの徒歩と春の陽気の中でも風が強く寒い一日であったことが残念でした。

しかし朝8時15分の名鉄バスセンターでの集合から夕刻6時の帰着まで短い時間でしたが問題も無く行事を終了することが出来たことは皆さんのご協力の賜と感謝いたしております。今回は特にE.Dの富岡さんの熱意に感謝いたします。

奈良バス旅行

林　まゆみ

昨年のリンカーン交流に引続き、今回も奈良を計画。季節もちょうどよい時なので東大寺から二月堂を回り若草山麓での昼食、春日大社まで徒歩でゆっくりと奈良を満喫できるコースを取った。

名古屋駅西口での集合、全員時間までに集まったものの、名前と顔がなかなか結びつかず名簿のチェックに一苦労。バスに乗り込む時も 30 名のアンバサダーを 3 グループに分けたが我々日本人のようにきびきびとした団体行動は苦手なようで少々慌てた。

それでも無事定刻に出発、やきもきしたのはどうやら新米ツアーリーダーの私だけだった様だ。

日帰りでは奈良のほんの一部しか案内できないのでバスの中では奈良大和路のビデオを流した。途中、休憩したサービスエリアでは盆栽の展示即売をやっていて、集まってきたアンバサダーの中には家に盆栽を持っていると言う人もいた。

渋滞もなく予定より 30 分も早く東大寺に到着。早速たくさんの鹿たちの歓迎。せんべいを催促し後ろから突く者、ペコペコとおじぎをする者等動物好きにはたまらない。3 名のボランティア英語ガイドさんの案内で南大門、大仏殿と進む。きっと大仏様の大きさに圧倒されたに違いない。

若草山麓での昼食はレストラン古都屋。ドイツの人達に喜んでもらえるようなメニューの相談、サービスもしてもらい美味しく、見た目も美しい和食ランチは好評だった。

今回、東大寺から春日大社まで徒歩コースを取ったので雨の場合、歩けない人がでた場合など心配した。しかし ED 冨岡さんの日頃の心がけが良かったのか天気もよくアンバサダー皆、古都の散策を楽しんでくれほっとする。

例年なら満開の桜を楽しんで貰えたのに今年は開花が遅く残念ながら蕾の状態。でも、奈良の桜のシーズンは道路が渋滞し予定が大幅に狂い幹事泣かせになるとバスの運転手から聞き胸をなでおろす。

愛知クラブの同行者の方々に色々お世話して頂いたお陰で全てが順調にいき、楽しい交流が無事終わった。

出会いに学ぶ」

安藤　龍蔵

気さくで、明るいクラウスさんとの出会いの一週間は、瞬く間に過ぎましたが、その間の彼との生活と会話を通して、ドイツ人気質や生活習慣の幾つかを知ることができました。

「イヤッ」「グート」「アァ　ソウ」…といったはっきりとした意思表示。特に、時間を守る点などは日本人に相通じる所です。

彼は髭剃り何分、シャワー何分といった調子で、出掛ける時など時間までには準備完了。また、Civil engineer の彼は、耐震構造物に関心を持っていて、加藤八郎さんと沢野井さんにお世話いただいたデイホストの時など、日本の技術力に興味を抱き、産業技術記念館を３時間半、じっくり見て回ったとか。

食事についても、朝はバタートースト２枚、牛乳約 100cc、コーヒーと果物。全てを器用にフォークとナイフを用いて、一口大にして食べるのもドイツの食文化?　ところが、フェアウエル・パーティの時にフォークとナイフを渡してあげても、箸しか使わないところなども、ドイツ気質なのでしょう。

今回の受け入れで、特筆したいことは、クラウスさんと静岡クラブの野田礼子さんとの再会です。互いの家族を偲び語らう我が家での一夜と犬山城・明治村を共にした時のお二人から一期一会の姿を改めて教えられました。

もう一つは、クラウスさんの繋がりと情報連絡が縁で、次の受け入れ先の松山クラブの岡田さんと知り合えたことです。彼を仲介として、松山に身近に感じる方ができました。岡田さんから、「ドイツと愛知県に親戚が出来たようで嬉しいです。」のたよりに感動を覚えました。

FF の活動を通して、国内の他のクラブの方と結ばれることの素晴らしさを知った今回の受け入れでした。海外に止まらず、日本国内の FF の絆を育むことも大切なことだと思った次第です。　クラウスさん、どう思う?　「アァ　ソウ。グート」

有松絞り体験

武藤美代子

フリーデイには、今回は有松絞り会館に行った。事前に有松絞り体験コースを予約しておいた。
まず、ビデオで有松絞りの歴史や６月初旬の有松絞り祭りについての説明を英語で見たが、ハートマットもマーガレットはとても感動したようだ。

フロアには 3 人の有松絞り熟練者の実演コーナーもあり、二人も私にいろいろ質問しながらじーっと見学していた。

その後、指導員に教えてもらいながらハンカチで絞り体験をした。とても細かな作業だったが、彼女は洋裁の教師だったので、私が一枚終える間に彼の分まで終えた。「こんな外人さんは始めて」だと言って指導員は彼女を誉めてくれた。

たまたまその日は山車をしまっておく新舎が完成したとのことで、山車が街を練り歩きその新舎の前では樽酒がふるまわれ、陽気なお祭り気分だった。

二人も皆と一緒にスルメをかじりながら日本酒を飲んだ。ハートマットがドイツ語で歌うと、有松絞りの法被を着たお兄さんたちが日本の歌を歌ってくれた。お土産にお菓子や藁ぞうりをもらい、それらをドイツへ持って帰った。一味違った交流ができ、とても喜んでいた。

「ハノーバーからの Elfriede、Ebel さんと共に」

池田昌子

3 月下旬、例年になく桜のつぼみも固い頃、中部新空港で夫と共に出迎えた。会った瞬間、2003 年に迎えたイスラエルのアンバサダーのことを思い出した。

二人ともシングル生活を思うがままに満喫されていた。

今回の Elfriede さんは 9 年前にご主人を亡くされ、今ではビジネスマンを引退されていた。

1970 年の大阪万博にはご主人と一緒に来られたそうです。

万博好きのご夫婦のようで様々の国の万博へ行かれたそうです。愛知万博へも何度か行く予定でしたが当方の事情から、やむを得ず予定変更の必要性が生じたりした為その都度キャンセル、2 日だけとなった。

70 歳に見えない若さでも、さすが朝から夕方までとなると疲れられたのか、「もう万博には絶対行かない、万博はどこでも皆同じ、wait！wait！wait！」である。少々万博に振り回された 1 週間であった。

パートナー

新居正子

我が家のアンバサダーは、Sitrygg Beyersdorff と Erika Jarr の二人です。

ペアーを希望したのは確かですが、マッチングが決ってみると姓が別です。

二人はどういう関係？事前にメールで確かめることができませんでしたので、到着早々おそるおそるたずねてみました。「同室でＯＫ？」「もちろん！僕達は３年前から一緒に暮らしているよ。」　二人とも旅行が趣味とあって、今回もエジプト、スペインから帰国して一週間もしないうちに日本に向けて発ったそうです。

二人はとても仲睦まじくて、６６歳のエリカはまるで少女のように初々しく、７０歳のシトリグも年齢不詳の頼もしさ。　デイホストの日は、吉賀さんがご夫妻で小原村、豊田を案内してくださり、夕食には私達も加わって３組のペアーが大いに飲み、しゃべり、笑って、楽しいパーティーとなりました。

ところが日がたつにつれ、話の端々に「彼女の家は空港の近くで・・・」「彼女の車は・・・」と別居を思わせるふしがあり首をかしげていたところ、最後の日の夜、シトリグが、とっておきのウイスキーを出してきて、飲むほどに酔うほどに身の上話が始まりました。「僕達がどのようにして知り合ったか、聞きたいか？」「聞きたい！　聞きたい！」

「妻を亡くして寂しかったので、『パートナー求む』と新聞広告を出したところ、エリカが手紙をくれたんだ」。

シトリグは、スペインのマヨカ島に別荘を持っていて、一年の三分の一はそこでパートナーのエリカと一緒に暮らしているという話です。

大きな二人の受け入れ

久保　三郎

メール交換は、４回に及び写真では普通の背丈のようでしたが、夫婦とも 190Cm ある大きな人であり、几帳面でインテリな人でした。

日本の文化をよく勉強していて、何事にも挑戦してとても好感が持てた。

デトリフはルフトファンザ空港に勤務していて、他のアンバサダーより５時間早くセントレアに到着し空港内をのんびりと案内した。

翌日の万博案内の日、デトリフは頭痛持ちで時々、発病するとの事で大変でしたが一日で回復やれやれでした。

彼女のジビリはパッチワークが趣味で、宇佐美さんから日本伝統の生地をいただきとても感謝していた。家庭の事情で、何時も息子夫婦の家で引き受けてもらいとても助かっている。

私は以前デイホストのみを１０数回引き受けたが、ホストの方がお互いの意思の疎通が深まり今後も出来る限り協力したい。

FFI アジア、環太平洋の　FF ニューキャッスル、オーストラリアでのワインと湖畔のフェスティバルに参加して

桜木　久幸

去る、五月八日から十二日までﾆｭｰｷｬｯｽﾙのﾜｲﾝの本場と、美しいたくさんの湖に囲まれた町でした。

当ｸﾗﾌﾞでの開催は初めてで、しかも小規模なｸﾗﾌﾞでした。役員は会長パツト・フォスター、議長はコーリン・ポツトー二人とも女性で、最も注目されたのが FFI 役員のノイル・プライド氏の存在でした。

彼とは十年前より面識があり、特に三年前の FF ｵｰｽﾄﾗﾘｱ大会と、二年前のﾆｭｰｼﾞｰランド AP ﾌｪｽﾁﾊﾞﾙで大いに語り合った人物で、元ｼﾄﾞﾆｰ大学教授（74）で雄弁家でした。

AP ﾌｪｽﾀの参加国は、日本---31 名（愛知ー久保氏、中川氏、櫻木）、英国--8 名、USA--6 名、NZ--2 名、ﾀｲ--2 名、ｵｰｽﾄﾗﾘｱは 55 名で、全体で 104 名でした。

SS ｺｰｽﾄの元会長グローリア・マックエン、とグレーム・ドナルドソン氏はｵｰｽﾄﾗﾘｱではこのような AP ﾌｪｽﾀで国際交流を生かしながら、現地の観光と産物を大いに市長ともども宣伝しているし、FF 交流も再開を楽しみながら、長い付き合いできると。

主なﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑの一日目は、ｳｪﾙｶﾑ、ｶｸﾃﾙﾊﾟｰﾃｨｰで相互名刺交換をしながらﾜｲﾝを交わしながら友好を温め、友人とは再会を時間を忘れて歓びあった。

二日目、市長の公式歓迎を受け茶と菓子で個々に歓談を交わさし、共に写真を撮り合い素晴らしいひと時をすごした。

午後より、有名なﾏｸﾜｲﾔｰ湖（ｿﾙﾄﾚｰｸで周囲が約 175㎞）の美しい景色のもとﾖｯﾄﾚｰｽが盛んであり、週遊船の中でﾗﾝﾁをとりながら、楽しさを満喫した。

夜の宴会はﾃﾞｽｺ、ｶﾗｵｹ------ｵｰｽﾄﾗﾘﾔはﾀｯﾌﾟﾀﾞﾝｽ・ｶﾗｵｹ、英国はﾓﾀﾞﾝﾀﾞﾝｽ、日本は日本舞踊・民謡・ｶﾗｵｹ-------愛知ｸﾗﾌﾞは、泥鰌掬い（久保氏、櫻木、）花笠音頭（櫻木）、ｶﾗｵｹ（久保氏、櫻木、）の全員で頑張り、会場が大いに盛り上がった。

三日目、地元の四大ﾜｲﾅﾘｰで、腹いっぱい赤白の有名ﾜｲﾝを飲み、”天国だ！”と酔っ払う人もいた。
尚、1～2 ダースを買い求める人々もいた。

四日目、ﾎﾟｰﾄ・ｽﾃｨﾝでｲﾙｶの見学をしながら、可愛らしいﾍﾟﾘｶﾝとも戯れた。
午後、7 時 30 分より、最後のｴﾝﾀﾃｰﾒﾝﾄで全員のﾀﾞﾝｽﾊﾟｰﾃｨｰと最高の FF 交流で盛り上がった。
最後に、参加国全員の拍手で日本が、2007 年の「FF AP 大会」　開催の推薦をされ、日本事務局ｺｰﾃﾞﾈｲﾀｰの石井さんは、それを受けざるを得なかった。　特に、ｵｰｽﾄﾗﾘｱの各ｸﾗﾌﾞ代表からの　FF 愛知指名が多かった。

15 日朝食後、殆どのｸﾗﾌﾞはｾﾝﾄﾗﾙ・ｺｰｽﾄとｼﾄﾞﾆｰｸﾗﾌﾞへと 3 日間のﾎｰﾑｽﾃｲに出発した。　愛知の 3 名はとても手厚いもてなしを受けた。さらに、その後 3 日間は私が１１年前より　FF　交流があった　FF ｼﾄﾞﾆｰ当時会長ブルース・モウリーさん、ジェフ・スチーブンスさん、パトリシア・ローチェスターさんの皆さんから毎晩ﾃﾞｨﾅｰﾊﾟｰﾃｨｰの歓待を我々は受けることが出来て、一生忘れられない旅となりました。

ハノーバー・ノーデルシュテット交換アルバム

1．'05.4.29　愛・地球博

AM　9:00　東ゲート前で開場を待つ人々

グローバルループを散策する Ambs

マンモスの展示されているグローバルハウスの横で

2．'05.4.30　奈良デイトリップ

鹿に煎餅をねだられて大喜びの Ambs

南大門の前にて

大仏殿前

大仏殿をバックに

3．'05.4.02　ピクニックパーティー

桜未だし

結構寒い１日でした

我々にとって寒くても彼らは頓着なし旺盛な食欲でした

4．'05.4.04　フェアウエルパーティー

クラブ旗の前で

アンバサダーとホストの紹介：村田さんと
シュレーダー親子

素晴らしい合唱を聞かせてくれました

着物姿の竹中さんとツーショットで
ご機嫌な ED Gerhard Hase 氏

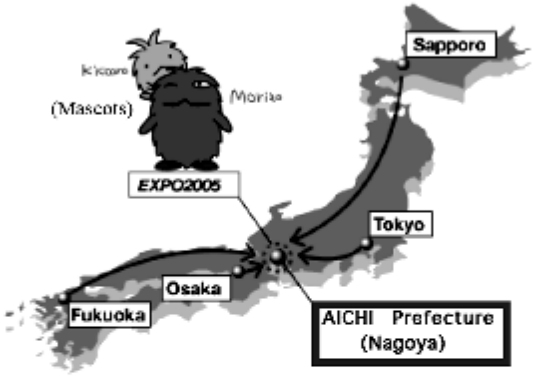
カルガリークラブのニューズレター

INBOUND UPDATES

From Aichi, Japan

: Everything seems to be falling into place for our upcoming visit from Aichi, Japan. Their money has arrived and is in the bank much earlier than we were expecting.

Most of the ambassador pictures and profiles have arrived and those that haven't, seem to be making an effort either to send them by snail mail or using friends' e-mail.



The committee has been working hard to finalize the program and it seems to be all in place.

The ambassadors have opted to take in the Stampede parade on TV and then go to the grounds in the afternoon to look around and then attend the chuck wagon races and the grandstand performance on Friday July 8th.

Following is the itinerary for the exchange:

Tuesday July 5th -	Ambassadors arrive @ 2:30 pm on AC 210
Wed. 6th	Canada Olympic Park, then welcome dinner at Kensington Legion
Thursday 7th	City of Calgary tour, Alberta Boot Co. tour and lunch at Japanese Village Free evening
Friday 8th	Stampede day
Saturday 9th	Spruce Meadows and host dinner
Sunday 10th	Tour of Banff/Lake Louise
Monday 11th	Free morning, farewell BBQ at Darlique Lodge
Tuesday 12th	Depart Calgary @ 10:00 AC 207

Hosts are on their own to meet and greet their ambassadors but we urge all members to come and greet the Japanese club at the airport when they arrive.

That's about it for now friends.

Lorne and Ella Bartley, Couple ED

事務局からのお知らせ

＊2005年度交換
受け入れ
イギリス・マンチェスター　10月6日～13日
ED　鷹野晴子　　AED　堀　夏江

ホスト、デイホストの募集

上記のとおり10月6日～13日イギリスのマンチェスターから13名、アイルランドから5名が合流して合計１８名のアンバサダーが愛知を訪れます。

ホスト、デイホストを募集いたします。
良い交換を目指してこれから準備が始まります。
皆様のご協力をお願い申し上げます

---------- ◇ ----------

＊2006年度交換
・受け入れ
オーストラリア・ノースモートン　3月末
ED未定
コスタリカ　　日程は未定
ED　土居陽子
・渡航
ドイツ・ハノーバー、ベルギー　4月末
ED　富岡達也　　AED　白木裕己

＊新入会員紹介
岩瀬裕子
住所　：名古屋市西区
紹介者：鷹野晴子

＊ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ担当
広報の冨岡さんに替わります
淡河さん長い間ご苦労様でした。

編集後記
本月号は、ハノーバー・ノーデルシュテット交換がメインとなりました。次号ではカルガリー交換と FF愛知クラブがホストすることになった2007年APF関連が主体となります。（冨岡）

編集・発行：FF愛知
事務局：〒478-0001
愛知県知多市八幡字笹廻間12-199
Tel&Fax　0562-34-0890
西村　貴美子